

2023年5月9日

各 位

株式会社 紀陽銀行

和歌山県が自治体の調達・支出プロセスの 最適化・高度化をめざして取り組む実証実験への協力について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、和歌山県（知事：岸本 周平）、Mastercard（本社：ニューヨーク州パーチェス 日本地区社長：内山 憲）、三菱UFJニコス株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：石塚 啓）、株式会社紀陽カードディーシー（本社：和歌山県和歌山市 代表取締役社長：竹中 義人）と自治体の調達・支出プロセスの最適化・高度化の実現をめざす実証実験（以下、本実験）を共同で実施しますので下記のとおりお知らせいたします。

本実験は、カードプログラムの導入を視野に入れた和歌山県の物品・役務調達、公共料金や出張等の支払い手段の最適化実現をめざすもので、当行は和歌山県の指定金融機関として決済・歳出プロセスの事務処理面での最適化に協力いたします。

紀陽銀行は、今後も和歌山県と連携し、地域のDX推進およびキャッシュレス社会の実現に貢献してまいります。

記

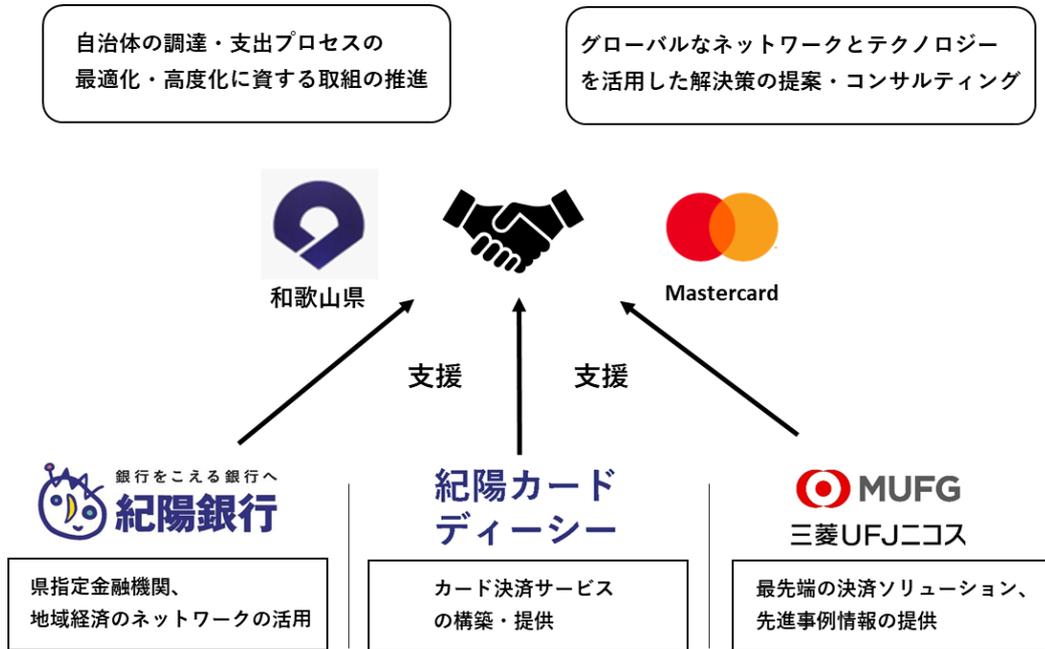
【実証実験について】

実 施 項 目	<ul style="list-style-type: none">①自治体調達プロセス現状調査<ul style="list-style-type: none">・ 現行の予算管理、発注、稟議、支払いまでの承認・稟議プロセス、決済時の決済手段、会計システム環境、サプライヤーのカード受付状況、カード決済が適している調達・経費項目等、現状調査の上、課題を確認。②今後の決済モデルの協議<ul style="list-style-type: none">・ 自治体の決済最適化手段の一つとしてパーチェシングカード（※1）、バーチャルカード（※2）や出張用カードの導入を検討。・ カードソリューションのシステム連携を想定した今後のシステム、プロセス、モデルの構築および導入効果予測の仮設立案。③実証実験<ul style="list-style-type: none">・ 現行のシステム環境におけるパーチェシングカード、バーチャルカードや出張用カードの試行。・ 自治体の調達・決済プロセス高度化および中小企業デジタル化推進施策を検討。④効果検証<ul style="list-style-type: none">・ 実証実験の定性的・定量的な効果検証。
---------	--

（※1）パーチェシングカードは、法人間決済において、プラスチックのカード自体は発行せず、有効期限付きのカード番号を発行して使う、セキュリティやガバナンスに一層配慮した仕組みの非対面取引専用のカードレス法人カード。

（※2）バーチャルカードはパーチェシングカードに紐づく子カード（子番号）として、各購買・発注ごとに導入先が自ら発行（発番）でき、子番号の利用条件（利用上限額、有効期間、利用時間、利用地域・国等）を設定して使用可能。

<実証実験のイメージ>



<パートナーシップ記念式典>



以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

